

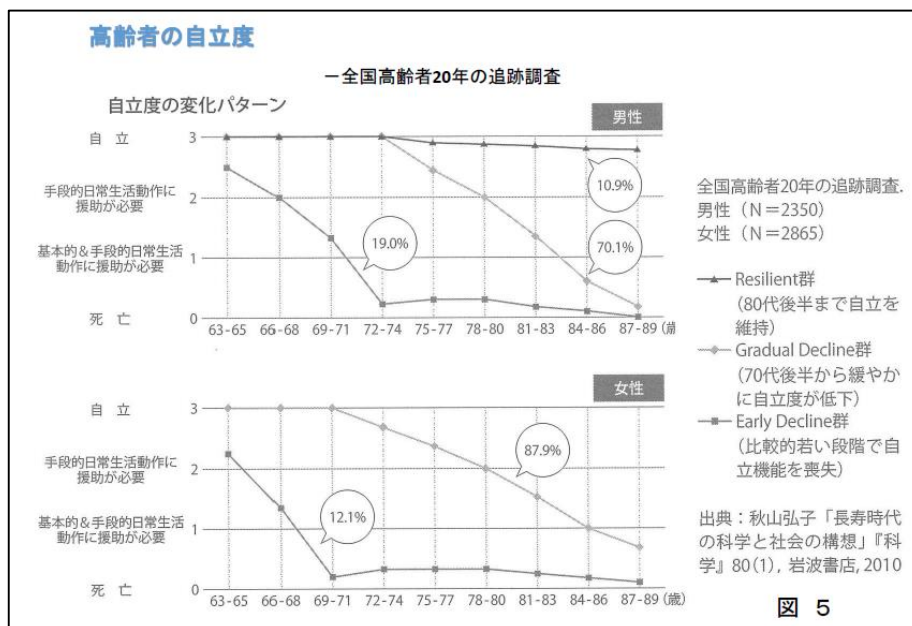
おわりに

～編集後記に代えて～

ここまで、7期14年に渡る府中市健康地域づくり審議会のあゆみを振り返りながら、その成果をまとめてきた。報告書の編集を終えるにあたり、今後の施策の推進において取り組んでいく必要があると思われる課題について、下記のとおりまとめてみた。

府中市民のよりよい健康づくりのために、府中市行政を初めとした関係各位が、これまで以上に創意工夫に努められることを期待したい。

1. 政策目標の達成度を正しく把握し、必要に応じて目標の再設定を行うこと。
2. 医師会と連携し、レセプト情報等を活用しながら5疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患・糖尿病・精神疾患）に具体的に取り組む方針を、地域として立案すること。
3. 従来のような疾病分類ではなく、サルコペニア、フレイルティ、コミュニケーション、自立度などの計量化を進め、介護予防や生き甲斐対策につなげること（図5参照）。
4. 小規模多機能型の連携を主とする、中山間地域における地域包括ケア体制を目指すこと。
5. 大学を含む教育機関と連携して、広い意味での地域公衆衛生人材を育成すること。



平成30（2018）年

寺岡 暉